

第 23 回災害廃棄物対策中国ブロック協議会 議事録

日 時：令和 7 年 2 月 18 日（火）13 時 30 分～15 時 30 分

場 所：鳥取県米子市 国際ファミリープラザ 会議室B
オンライン会議システム併用

議 事：

- （1） ブロック協議会・幹事会における主な意見と対応方針
- （2） 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討
- （3） 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討
- （4） ブロック内の広域処理を行うための調査結果等
- （5） 行動計画の資料編等の更新に関する調査検討
- （6） 図上訓練の実施結果
- （7） 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施結果
- （8） セミナーの実施
- （9） 災害廃棄物処理支援員との意見交換会の実施
- （10） 次年度以降の中国ブロック協議会での取組に係る課題について

その他：

今後の予定について

1 開会

2 あいさつ

中国四国地方環境事務所 坂口所長より開会のあいさつが行われた。

3 議事

（座長）

議事の「（1） ブロック協議会・幹事会における主な意見と対応方針」について、
事務局 MURC より説明をお願いする。

（1） ブロック協議会・幹事会における主な意見と対応方針

議事の「（1） ブロック協議会・幹事会における主な意見と対応方針」について、
事務局 MURC より資料 1 の説明が行われた。

(事務局 MURC)

(資料 1 の説明・省略)

(座長)

議事の「(2) 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(2) 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討

議事の「(2) 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討」について、事務局 MURC より資料 2 の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 2 の説明・省略)

(座長)

ただいま説明いただいた資料 1、資料 2 について、ご質問等があればお願いする。

(座長)

5 つの業務の中に災害マネジメントが 2 回書かれているが、これは単なる重複か。

(事務局 MURC)

その通りである。修正する。

(委員)

11p の応援可能な人員の確保では、主に災害廃棄物対策を 2 つ示されている。災害廃棄物経験担当職員の位置づけという事で、経験者を処理支援員に位置付けることは良いことだと思う。派遣経験職員のデータベース化は、経験者に未経験者を同行させるという事で OJT に相当する仕組みかと思う。応援職員を増やすことにもつながる。中国ブロックは南海トラフでは被災が比較的少ない地域であるため支援側になるかと思う。今後も未経験者の同行を図上訓練にも取り入れて具体性を増していくと良い。

ただ、災害対応の経験のない自治体は経験を持っている人がいないため派遣できない事が考えられる。経験者のいない自治体も参加できる仕組みを作っていくべきである。例えば自治体単独で動く現在の仕組みとは別に、県が主導して支援チームを組織して被災経験の少ない自治体を入れるような仕組みも考えられる。

要は、南海トラフ地震の支援体制を中国ブロックでは充実させていく必要があるので、OJT による災害対応教育を促進していく必要があるということである。

(座長)

貴重なご意見をありがとうございました。

他に意見は無いようなので、次の議題に移る。

議事の「(3) 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(3) 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討

議事の「(3) 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討」について、

事務局 MURC より資料3の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料3の説明・省略)

(座長)

ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か質問があればお願いする。

(副座長)

質問というよりもコメントになる。資料3-2について、新しいものは無いと言っていたが、すごくうまくまとめていただいていると思う。広域輸送は地区内処理をやっているのに、外に持ち出すのにどう話を進めていたらよいかということをうまく整理している。7p~9pの図表8, 9, 10では、広域輸送では多くの主体が絡むことになる中、実施主体が何をやったらよいかが整理されている。各自治体では自自治体に当てはめてみて、考えていただくと役に立つと思う。+αで、被災自治体に合意形成をお願いする際には、県と環境事務所も調整に関わってくると思うので、その辺の部分についてもうまく表現に入れ込んでいただきたい。全体調整をすることや、優先順位を考えるといったことも、県・国の調整事項に入ってくると思う。行動計画の資料編に入れるにあたってはそのあたりを考慮いただきたい。

(座長)

ありがとうございます。事務局としてはどうか。

(事務局 環境省)

行動計画に反映するのは来年度になるが、もう少しブラッシュアップしていきたい。

(座長)

ありがとうございます。

(委員)

資料 3-1 の図表 31 では、計測した時間はリードタイムに吸収されてしまうという点について、鉄道船舶には影響ないという評価だった。1 日の運搬量では、大きな差が出てくることも有り得る。1 日に 20 台運搬できるとすると、運搬時間が短い場合は 10 台で済むこともある。逆に時間が長いともっと必要になるという事が起こる。運搬時間は必要なトラック台数を確保できるかという問題に直結する。そういう観点からのコメントがあった方が良い。現在の表現で問題がないが、評価の仕方がもつたないないように思う。

(座長)

ありがとうございます。事務局からお願ひします。

(事務局 MURC)

その通りかと思う。60 分切っているが 110 分かかるところもあった。1 往復さえもギリギリかと思う。今のご指摘を加筆したい。

(座長)

私から形式的なことであるが、資料 3-2 の 16p の表内に着色があるが、こちらは註釈を付けた方が良い。

他に意見は無いようなので、次の議題に移る。

議事の「(4) ブロック内での広域処理を行うための調査結果等」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(4) ブロック内での広域処理を行うための調査結果等

議事の「(4) ブロック内での広域処理を行うための調査結果等」について、事務局 MURC より資料 4 の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 4 の説明・省略)

(座長)

ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か質問があればお願ひする。

(座長)

調査検討の活用で、公表ができないとあり、一覧表を県別に整理して県単位に提供、活用をするという記述があるが、県だけが知っているという事か。

(事務局 MURC)

その通りである。

(座長)

それはどうなのか。県だけが持っている情報が速やかに役立つものになるかは疑問である。

(副座長)

自区内処理が難しくなった場合はまず県が調整に乗り出す。県内が難しい場合は隣県に依頼することになる。基本的には流れに沿ってやるしかないと思う。

(座長)

ありがとうございました。県の方でご意見があればと思ったが、特にないか。

他に意見は無いようなので、次の議題に移る。

議事の「(5) 行動計画の資料編等の更新に関する調査検討」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(5) 行動計画の資料編等の更新に関する調査検討

議事の「(5) 行動計画の資料編等の更新に関する調査検討」について、事務局 MURC より資料 5 の説明が行われた。

(事務局 MURC)

(資料 5 の説明・省略)

(座長)

ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か質問があればお願いする。

他に意見は無いようなので、次の議題に移る。

議事の「(6) 図上訓練の実施結果」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(6) 図上訓練の実施結果

議事の「(6) 図上訓練の実施結果」について、事務局 MURC より資料 6 の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 6 の説明・省略)

(座長)

ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か質問があればお願いする。

副座長お願いします。

(副座長)

訓練がうまく行くこと自体に意味はない。うまく行かない訓練こそ本質である。訓練に参加する方も理解が必要だと思う。分かっている人には学びがなかったという意見があったが、反対に、分かっていない人もいたという事が学びである。分かっていない人がたくさんいたため訓練がうまく行かなかったというのはお角違いである。こういった訓練を時間帯の工夫をしながら試行錯誤をしていき、参加者にはその部分も分かっていただいて参加いただければと思う。

(座長)

その通りかと思う。

(委員)

次年度以降、中四国合同の訓練という事で提案したい。南海トラフでは中国ブロックは支援側に、四国ブロックは受援側になると想定されるが、受援側も災害対応する手順をやり、応援側は 10p に提示されている能登の課題のようなことを対応としてやっていくと、一つの図上訓練になると思った。南海トラフ地震での役割分担を想定した企画をするのも良いと思う。参考にしてほしい。

(座長)

訓練に対する提案が 2 つ出たかと思う。事務局 MURC から意見はあるか。

(事務局 MURC)

今回は時間がかかりすぎたという事があったが、我々も訓練がうまく行けばよいと思つてはおらず、課題が良く分かる訓練を心がけている。

(座長)

委員のご意見を環境事務所として次年度に反映されることについてご意見はあるか。

(事務局 環境省)

来年度も再考している。今年度も四国側が受援、中国側が支援という事を想定していたが、来年度も時間をかけて図上訓練をしたい。

(座長)

他に意見は無いようなので、次の議題に移る。

議事の「(7) 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施結果」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(7) 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施結果

議事の「(7) 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施結果」について、事務局 MURC より資料 7 の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 7 の説明・省略)

(座長)

ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か質問があればお願いする。

(座長)

まずは私から。倉敷市の方でも振り返りをしているのか。

(倉敷市)

当日数時間かけて訓練をしたが、皆様にお伝えしたいのが、訓練までに産資協も打合せに参加した。災害発生時に民間事業者とやるべき仮置場のレイアウトやコンテナの使い方、搬出路を設けるなども打合せの中で出てきた意見である。

災害時の対応を訓練できたのは良かったが、市としてはもう少し訓練の内容を伝えられれば良かった。加えて、今回の担当は配属 1 年目の職員に訓練を経験してもらった。経験のある職員が経験のない職員にノウハウを引き継ぐという意味でも良かった。今後訓練を実施する自治体にはこういった部分でも実施のメリットがある事を知って

もらえたと思う。

(座長)

承知しました。四国ブロックに向けても、訓練までの流れを簡単にまとめてほしい。

(副座長)

私も参加させてもらった。様々な自治体の訓練に参加させていただく機会があるが、仮置場一つとっても盛り込まなければいけないことが多くあり、盛り込みすぎると薄くなってしまう。例えば東京都では狭い土地しかない中で、面積の限られた仮置場をいかにうまく回すかを工夫していた。三重県では訓練当日雨天だったが、降雨時の対策ができ参考になった。通常訓練の学びはアンケートで終わりだが、三重県の場合は訓練後に議論をする工夫をされていた。受付などのやり方をしっかり学ぶことができていたと思う。他自治体の情報収集をするとともに、重点的に学べる部分を意識して設計するのが良い。

(座長)

多くのヒントをいただいた。他に意見は無いようなので、次の議題に移る。

議事の「(8) セミナーの実施」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(8) セミナーの実施

議事の「(8) セミナーの実施」について、事務局 MURC より資料 3 の説明が行われた。

(事務局 MURC)

(資料 8 の説明・省略)

(座長)

ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か質問があればお願いする。

(座長)

意見は無いようなので、次の議題に移る。

議事の「(9) 災害廃棄物処理支援員との意見交換会の実施」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(9) 災害廃棄物処理支援員との意見交換会の実施

議事の「(9) 災害廃棄物処理支援員との意見交換会の実施」について、事務局 MURC より資料9の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料9の説明・省略)

(座長)

ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か質問があればお願いする。

副座長お願いします。

(副座長)

開催日は環境省本省の方の人材バンクに関する意見交換会があり、そちらに出席していた。そちらでは関東事務所が資料の意見をまとめたものを作成していた。中四国環境事務所からも環境省の本省の方に上げていただきたい。

(事務局 環境省)

担当者の会議の予定があるのでその場で上げさせていただきたいと思う。

(座長)

対面で続けていきたいという整理だったかと思う。

他に意見は無いようなので、次の議題に移る。

議事の「(10) 次年度以降の中国ブロック協議会での取組に係る課題について」、事務局 環境省より説明をお願いする。

(10) 次年度以降の中国ブロック協議会での取組に係る課題について

議事の「(10) 次年度以降の中国ブロック協議会での取組に係る課題について」、事務局 環境省より資料3の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 環境省)

(資料10の説明・省略)

(座長)

ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か質問があればお願いする。

(委員)

1点質問したい。小規模自治体での課題検討は重要なテーマかと思う。

企画は問題意識として小規模自治体は災害対応に関わる人材が非常に少ない。少ない人材をどのようにカバーしていくのかを考える必要があるが、有効な対応策がない状態ではないか。企画の背景を詳しく教えていただければと思う。

(事務局 MURC)

能登半島地震でも奥能登は小規模自治体が多かった。廃棄物に関しても 1, 2 名しか職員がいない中で対応しなければならず、さまざまな課題が出ていた。そういう自治体に対してもブロック協議会の意見が下りていっていない印象を持った。中四国ブロックでの蓄積を共有できればと考えている。意識を持っている自治体に対しては応援ができればと思う。

(座長)

ブロック間連携では、中四国の特徴的な事項として検討を加えていくという事だが、中四国以外の枠組みで議題に上がったと思うが、近畿や九州などから中四国に対しての他ブロックはどういった認識なのか。

(事務局 環境省)

中四国ブロックは地理的には 3, 4 つに分かれているが、ブロック間で支援の枠組みができると考えている。初期の対応が有効な手順ができると考えている。少し時間が経てば他ブロックからも応援が入ってくると思うが、南海トラフでは初動の内に 2 ブロックでどのように対応ができるかを考えたい。

産業資源循環協会でもブロックで協定を作っているが、来年度に中国四国を対象に協定を作っていく。更に中四国で連携していきたい。

(座長)

他ブロックとの連携も意識しないといけないと考えているが、現時点では具体的では無いということである。他はいかがか。副座長お願いします。

(副座長)

処理施設からの観点がこの中には入っていない。小規模自治体にも災害廃棄物処理の対応の重要性が届かない部分があるということ、一部事務組合に災害廃棄物処理の重要性が届いていない部分がある。2, 3 つの小さい処理場を運営している事務組合に

は届いていない。発災した際にはそういう組合に役割を果たしていただけるのかと
いう確認が必要かと思う。

一廃の許可を持っている事業者もあると思う。処理場のリスト化に入れていくのも
良いのではないか。

(座長)

ありがとうございます。

過去にも意見が出ていたが整理したほうがよいと思う。

以上で議事は終わりである。進行を事務局にお返しする。

(事務局 MURC)

座長ありがとうございます。

それでは「4 その他」に進む。

4 その他

今後の予定について

(事務局 MURC)

本日のご意見をふまえて資料を修正し、最終的には報告書としてまとめる。報告書
の内容の最終確認については座長に一任とさせて頂いてよろしいか。

(構成員)

異議なし。

5 閉会

(事務局 MURC)

ありがとうございます。

本日の議事録を1週間後をめどに送付するため、ご確認いただきご意見・ご修正が
ある場合は3月4日までにご連絡いただきたい。その後3月25日に全市町村向けに
報告書を公開する予定である。

以上で、第23回災害廃棄物対策中国ブロック協議会を閉会する。オンライン会議
の方も通信を終了する。本日は長時間ありがとうございました。

以上

第 23 回災害廃棄物対策四国ブロック協議会 議事録

日 時：令和 7 年 2 月 19 日（水）13 時 30 分～15 時 30 分
場 所：愛媛県松山市 松山市総合コミュニティセンター 第 6・7 会議室
オンライン会議システム併用

議 事：

- (1) ブロック協議会・幹事会における主な意見と対応方針
- (2) 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討
- (3) 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討
- (4) ブロック内での広域処理を行うための調査結果等
- (5) 行動計画の資料編等の更新に関する調査検討
- (6) 図上訓練の実施結果
- (7) 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施結果
- (8) セミナーの実施
- (9) 災害廃棄物処理支援員との意見交換会の実施
- (10) 次年度以降の四国ブロック協議会での取組に係る課題について

その他：

今後の予定について

1 開会

2 あいさつ

中国四国地方環境事務所四国事務所 大林所長より開会のあいさつが行われた。

3 議事

(座長)

本日は議事が多いため、幹事会で既に報告のあったものについては、修正・追加部分を中心に説明をお願いする。また、構成員の皆様も、予定の時間に会議が終了するようご協力ををお願いする。

それでは議事「(1) ブロック協議会・幹事会における主な意見と対応方針」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(1) ブロック協議会・幹事会における主な意見と対応方針

議事「(1) ブロック協議会・幹事会における主な意見と対応方針」について

事務局 MURC より資料 1 の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 1 の説明・省略)

(座長)

資料 1 については後の議題で詳細な意見交換が行われるであろうことから、次の議事に移る。

「(2) 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(2) 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討

議事「(2) 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討」について

事務局 MURC より資料 2 の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 2 の説明・省略)

(事務局 環境省)

環境省と総務省の応援要請ルートの一本化に関する協議について補足する。

総務省による対口支援は、中長期派遣は所管省庁（支援内容）に関係なく一本化で現状要請がなされているが、短期派遣では知事会・市町村会を通じて主に罹災証明の発行や避難所運営に係る支援の要請を行っている。一方で、環境省では能登半島地震において公費解体申請の窓口受付等業務について、短期派遣の要請を全国の自治体に行い、自治体職員の派遣を調整した。

これまでも環境省から総務省に対しては、短期派遣も中長期派遣と同様に要請ルートを一本化できないかと協議を重ねてきているが、総務省の対口支援ではカウンターパート制で基本一対一で支援を行うことになっているが、環境省で一対一の支援となると応援要員の人員不足等の様々な懸念があるため、一本化が難しいといった現状がある。

本省からは応援要請の際の手続き方法や書類様式のスリム化を図り、引き続き総務省とは調整しながら協議を行っていくと聞いている。地方環境事務所からも協議会等での意見要望は伝えていく。

(座長)

「(2) 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討」について、ご意見募る。

(愛媛県)

愛媛県が被災して応援要請するとなった場合、要請先は環境省・総務省それぞれであるか。

(事務局 環境省)

それぞれに要請することとなる。災害廃棄物処理については環境省に応援要請を行っていただく。

(委員)

資料2のP11について、派遣経験者と未経験者を2人1組のチームとする解決策が提示されており、今後応援経験者を増やしていくという観点からも人材教育として良いと考える。一方で災害対応の経験者がいない自治体においては災害応援の機会がなくなってしまうのではないかという懸念がある。

一案として、今は自治体の要請に基づき単独で参加しているが、それとは別に県主導でチームを組織し、災害経験のない自治体も派遣の経験を積めるようなスキームを検討してはどうか。

(座長)

ありがとうございます。今後の参考になる意見かと思われる。

また細かい点ではあるが、資料2のP10「顔の見える関係」という表現については比喩的表現であるため、信頼関係など通常使用される言葉も使用して頂きたい。

次の議事へ移る。

「(3) 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(3) 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討

議事「(3) 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討」について

事務局 MURC より資料3-1, 3-2の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料3-1, 3-2の説明・省略)

(座長)

「(3) 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討」について、ご意見募る。

(えひめ産業資源循環協会)

愛媛県の会員も石川県からの要請で大型トラックによる運搬の依頼を受け、何社か協力させていただいた。ただし派遣にあたって、12m以上のトラックの場合には事前に通行ルートの許可が必要であり、また高速道路会社からも許可を得なければならぬ。乗り降りする IC についても指定が入る等、申請から派遣までに相当な時間を要した。また応援の際、ドライバーに土地勘がないため降りる IC を間違えるケースがある。この場合は違反点のペナルティがつくことになり、これらが一定点数以上累積されると全社として ETC カードを取り上げられてしまう。そのため今回支援を行った会社からは次回はもう応援に派遣できないとの話を聞いている。非常時には特例で規定を緩和するよう調整を希望する。

(座長)

ご意見ありがとうございます。他に、ご意見はあるか。

(委員)

港に貨物を持って行っても積み卸しの待機時間が発生する。このタイムロスの大きさについては判明しているか。

(事務局 MURC)

その算出は難しい。廃棄物をコンテナで持っていたとしても、他の荷役もあり廃棄物だけを積み卸すというわけではない。一般的には港の方が運搬に時間を要するということは言える。

(委員)

了解した。発言の意図としてはどれくらいの時間的余裕をもって搬出すればよいかという情報があれば良いというものだった。

(座長)

他に、ご意見はあるか。

(委員)

資料3-1の図29では、計測した時間はリードタイムに吸収されてしまうという点について、鉄道船舶には影響ないという評価だった。一日の運搬量では、大きな差

が出てくることも有り得る。量的視点からも評価するようなコメントを追記いただきたい。

(事務局 環境省)

一日の運搬量・運搬後の待機時間についても今後検討を重ねていければと思う。

(座長)

次の議事へ移る。

「(4) ブロック内での広域処理を行うための調査結果等」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(4) ブロック内での広域処理を行うための調査結果等

議事「(4) ブロック内での広域処理を行うための調査結果等」について

事務局 MURC より資料4の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料4の説明・省略)

(座長)

「(4) ブロック内での広域処理を行うための調査結果等」について、ご意見募る。

(座長)

県別にデータ整理を行い、県と情報共有することだが、協議会構成員からデータを参照したいと要望があった場合にはどのように対応するか。

(事務局 環境省)

データを所有する県に相談することになるかと思うが、共有にあたってのルールは今後検討する。

(座長)

次の議事へ移る。

「(5) 行動計画の資料編等の更新に関する調査検討」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(5) 行動計画の資料編等の更新に関する調査検討

議事「(5) 行動計画の資料編等の更新に関する調査検討」について

事務局 MURC より資料 5 の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 5 の説明・省略)

(座長)

「(5) 行動計画の資料編等の更新に関する調査検討」について、ご意見募る。

(座長)

意見は無いようなので、次の議事へ移る。

「(6) 図上訓練の実施結果」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(6) 図上訓練の実施結果

議事「(6) 図上訓練の実施結果」について

事務局 MURC より資料 6 の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 6 の説明・省略)

(座長)

「(6) 図上訓練の実施結果」について、ご意見募る。

(副座長)

今後の課題について、次の議題の仮置場設置訓練とも共通するが、訓練の評価は訓練の進行の円滑さとは直接結びつくものでない。災害時には職員全員が対応の段取りを分かっている状況ではないため、事前の学習が必要とのご意見があったが、段取りを把握していない中で上手くできなかったことも訓練の重要な学びである。

(委員)

能登半島地震での応援について課題と対策が冒頭の資料でまとめられていたが、同様の問題が 10 年以上指摘されている現状がある。

この問題解決に向けて今回整理した課題を有効活用して、今後の図上訓練の中で取

り入れることを検討していただくと良い。

(座長)

ご意見ありがとうございました。次の議事へ。

「(7) 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施結果」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(7) 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施結果

議事「(7) 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施結果」について

事務局 MURC より資料 7 の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 7 の説明・省略)

なお、昨日 18 日（火）に開催した「第 23 回中国ブロック協議会」で実施者である倉敷市から補足があったため共有する。今年度の実地訓練にあたっては、倉敷市、産資協、事務局など関係団体で事前に打ち合わせを重ね、レイアウトなどを検討した。今回の訓練での特徴として、搬出ルートを外側に設定するという案があったが、こちらも打合せの中から出てきたアイデアであり、倉敷市としては発災前の事前想定について協議を出来た点でも今回の訓練を評価している。

(座長)

「(7) 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施結果」について、ご意見募る。

(座長)

意見は無いようなので、次の議事へ移る。

「(8) セミナーの実施」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(8) セミナーの実施

議事「(8) セミナーの実施」について

事務局 MURC より資料 8 の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 8 の説明・省略)

(座長)

「(8) セミナーの実施」について、ご意見募る。

(座長)

意見は無いようなので、次の議事へ移る。

「(9) 災害廃棄物支援処理員との意見交換会の実施」について、事務局 MURC より説明をお願いする。

(9) 災害廃棄物支援処理員との意見交換会の実施

議事「(9) 災害廃棄物支援処理員との意見交換会の実施」について

事務局 MURC より資料の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料 9 の説明・省略)

(座長)

「(9) 災害廃棄物支援処理員との意見交換会の実施」について、ご意見募る。

(副座長)

人材バンクの制度は自治体職員が被災自治体を支援するため、同じ目線で支援するということに非常に意義がある。その意味でもこの意見交換会が重要であると思う。同日、1月 20 日には環境省本省で人材バンク制度の有識者の意見交換会があり、私も参加していた。そちらでは同様に関東ブロックから支援に行った方々のアンケートを紹介していた。中四国でもせっかく意見をまとめたので本省に意見を共有してほしいと考える。

(事務局 環境省)

取りまとめた意見については本省に共有する。

(座長)

結論としては、意見交換会は対面形式で可能な限り毎年実施するということになる。次の議事へ移る。

「(10) 次年度以降の四国ブロック協議会での取り組みに係る課題について」、事務局 環境省より説明をお願いする。

(10) 次年度以降の四国ブロック協議会での取り組みに係る課題について

議事「(10) 次年度以降の四国ブロック協議会での取り組みに係る課題について」、事務局 環境省より資料の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 環境省)

(資料10の説明・省略)

(座長)

「(10) 次年度以降の四国ブロック協議会での取り組みに係る課題について」、ご意見募る。私からは3点目の廃棄物処理施設について、最終処分はこれまでの検討に含めてきたか。

(事務局 環境省)

今回の処理施設調査の中でも最終処分場についても調査対象としている。

(副座長)

2点の意見がある。1点目は処理事業者についてである。災害廃棄物の処理事業者のなかには、一般廃棄物の許可を所有し、処理を行っている事業者もある。そのような事業者にどれほどの協力が見込めるのかを知りたい。2点目は小規模自治体について、こういった自治体では一部事務組合で廃棄物処理施設を持っているケースが非常に多いが、一部事務組合の災害廃棄物への理解は不足している印象がある。施設規模が小さいため処理自体は現実的ではないかもしれないが、少なくとも理解を促進させる必要がある。

(委員)

小規模自治体については能登半島地震の例でも現場への応援が難しいケースがあった。そのような際に、小規模自治体同士、隣接自治体での協力の可能性が検討されるかと思う。大規模自治体や県はリモートで指示を出すことが可能だと思うが、小規模自治体が孤立しないような形で他自治体からどのように支援すべきかを考えいかなければならない。そのような対策についてマニュアルを作成することも個人的には必要であると思う。

(事務所 環境省)

ご指摘の通り、小規模自治体では自前の施設をもっておらず、一部事務組合が所有するケースが多い。産業廃棄物の処理業者と協定を結び災害廃棄物の処理対策をして

いる自治体もある。このような自治体での課題についても考えていきたい。

(座長)

ご意見ありがとうございました。議事は以上であるため、進行を事務局にお返しする。

4 その他

(事務局 MURC)

4 その他「今後の予定」について、事務局 MURC より説明する。

本日のご意見をふまえて資料を修正し、最終的には報告書としてまとめる。報告書の内容の最終確認については座長に一任とさせて頂いてよろしいか。

(構成員)

異議なし。

5 閉会

(事務局 MURC)

本日は、お忙しいところご出席いただきありがとうございました。

本日の議事録を 1 週間後を目処に送付するため、ご確認いただきご意見・ご修正がある場合は 3 月 4 日までにご連絡いただきたい。その後 3 月 25 日に全市町村向けに報告書を公開する予定である。

第 23 回災害廃棄物対策四国ブロック協議会を終了する。オンライン会議の方も通信を終了する。

本日は長時間ありがとうございました。

以上